

不動産業業況等調査（平成29年1月）*1

● 現在の経営状況*2

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	15.6 p	△ 1.6 p ↓
不動産流通業（住宅地）	△ 10.9 p	△ 4.2 p ↓
ビル賃貸業	14.6 p	4.2 p ↑

● 3ヶ月後経営状況見通し*3

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	7.8 p	16.4 p ↑
不動産流通業（住宅地）	0.0 p	6.7 p ↑
ビル賃貸業	2.1 p	2.1 p ↑

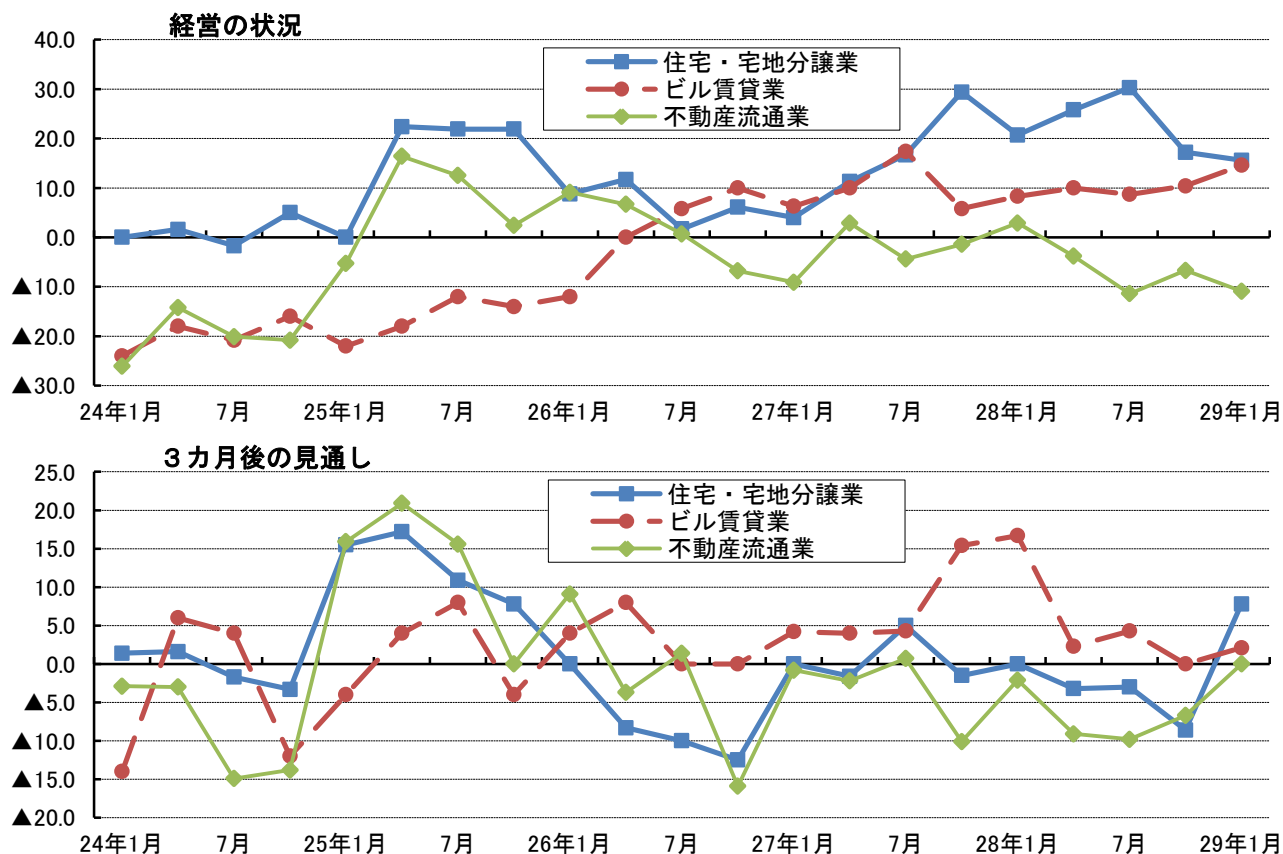
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 1.6p 悪化し 15.6p。16期連続のプラス水準。
 不動産流通業は前回から 4.2p 悪化し △ 10.9p。4期連続のマイナス水準。
 ビル賃貸業は前回から 4.2p 改善し 14.6p。11期連続でのプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、3業種すべてで改善。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

*3 3ヶ月後の見通し = $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$



[不動産業業況等調査結果\(pdf\)ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」